



TITLE:

問答欄

AUTHOR(S):

---

CITATION:

問答欄. 天界 1926, 6(70): 591-591

ISSUE DATE:

1926-11-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161057>

RIGHT:

## 問 答 欄

## 質問の部

(54) 山本先生。「萬有科學大系」第一巻の中の先生御著「天體と宇宙」昨日漸く讀了。啓發さるゝ所甚大。厚く御禮申上候。さて讀過の途中三つ四つ心づきし誤植かと思はるゝ點之れあり、下に記載致し候間御一覽下されたく候  
P. 92, 上段、赤道直徑や南北直徑とあるは半徑の誤りに非ずや?

P. 234 及び 235, 恒星の直徑について、アークトウルが太陽の45倍と20倍とに、ベテルギウスが135倍と300倍とになれるが何れが眞か?

P. 242, 銀河新星の表の中に「くわつ」といふ星座の名のラテン名は何なりや? 「さそり」の誤りかと思はる。

P. 234, 第百八十九圖中の「リゲル」は「ベテルギウス」の誤りならずや?

P. 329, ラブラスの星雲説が1895年發表とあるは勿論1795年の誤りならん。(八月二十九日、岩村)

(55) 山本氏著「天體と宇宙」第88頁の遊星の表の中の地球の公轉週期365.26とあるは365.24の誤りに非ずや?(WK)

(56) 御多忙中誠に恐縮に候へども下記御教示の程伏して懇願奉り候(城内)

1、天王星の發見者の名

2、海王星發見者の名

## 解答の部

(54) 最後の校正を出版者に委せたものですから誤植が多少あるのを御氣の毒に思ひます。(今年末、再版の時には嚴密に修正するつもりですが) さて、御質問の個所について、  
P. 92, 上段、赤道直徑や南北直徑は皆御説の通り、半徑の誤りです。

P. 234 及び 235, 恒星の直徑として第234頁に掲げてあるのはラッセル教授の數理計算によるものです。(「天界」第一巻第六號第93頁參照) しかるに第235頁のはキルソン山の「百吋」の干涉計による實測の結果です。故に此の兩者が正しく一致しないのは止むを得ません。——之れは誤植ではありません。

P. 242, 「くわつ」は確に「さそり」の誤りです。此の同じ表の中に三ヶ所あります。御直し下さい。又「くわんむり」も「かんむり」

の誤りです。

P. 284, 「リゲル」は亦「ベテルギウス」の誤りです。

P. 329, ラブラス説は1796年です。御直し下さい。

尚ほ、其の外に、下の如く訂正して下さい。

頁	誤	正
73(第6圖の説明)	相對指數	相對數
92(左より四行目)(一九〇八年)(一九〇七年)		
109(第42圖の説明)東端で星	東端で星	東端で星
145(第70圖の説明) ゴナカン	ゴナカン	ゴチカン
ク 第72圖の撮影者は神戸の 森下助次郎氏		
153(第81圖の中) 星の軌道	木星の軌道	
194(下段第四行)	えから	元から
168(第101圖説明)	からほ	からのほ
170(下段左から十行目)	一時	午前一時
174(上段左から三行目)近頃まで	近頃まで	近頃なほ
ク(下段左から六行目)幾千幾萬	幾千幾萬	幾千萬
181(第114圖説明)	四十三京	四十三兆
182(第115圖説明)	四京	四兆
195(表中の「馬蹄星雲」の記事) α形	Ω形	Ω形
193(中段第11行)	ABC	Abc
203(下段左より第4行)	が	ガ
204(上段第6行)	が	ガ
ク ク	が	ガ
225(下段第6行)	距離比	距離の比
237(上段第8行)	三、級	三級、
ク(ク 第12行)	エの	のエ
ク(中段第11行)	I星	1星
ク(ク 第19行)	I星	1星
239, 第160圖の中央部)	1912	1911
244(第163圖)	左圖の上下左右を轉倒す	
247(中段左より第2行)	氏 氏が光電	
270(上段の表)	カンオヘア カシオヘア	
271(第185圖の説明第四行)が星	が星	
290 第195圖はメシア第三號の寫眞である。		
322(上段左第4行)	十がじ	じうじふ
324 第235圖は取消し		
330 第238圖は取り消し		
382(表の中)	計畫中	製作中
397(表の第6行)	P ア	P
397(表の第24行)	ジャヴ	ジャヴ島

× × ×